

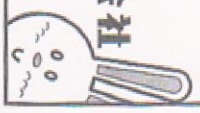
28日(月)	16日(月)	27日(月)	17日(火)	25日(水)	15日(水)	18日(木)	28日(月)
☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
19	16	19	17	19	15	18	19
☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁

のち  
 一時々  
 未  
 5.5以上  
 数字(上)最高気温  
 (下)最低気温  
 丸印みは降水確率以上  
 白は正午の風向き  
 矢印なしは無風

こちらに掲載

未来のオフィスを創造する

**クラナジ株式会社**



岡山

毎日新聞 2013.9.12(木)

# 親子触れあい赤ちゃん体操

「赤ちゃん体操」で指導する上地希子さんと笑顔で歩くこうき君  
 北区幸川市場の岡山白ゆり発達支援センターで



筋力が弱く、ゆつりと寝返る赤ちゃんの乳幼児のための「赤ちゃん体操」が、北区幸川市場の「岡山白ゆり発達支援センター」で毎月第1火曜に開かれている。赤ちゃんが理想的な姿勢で歩けるためのトレーニングだが、ダウン症に向き合う母親たちが交流を深める場となっている。

赤ちゃん体操は、兵庫サージをしながら親子が県立塚口病院(尼崎市)藤田弘子・小児科医師岡山市では、同センターが1975年に乳幼児を1が開所した2011年春から、臨床心理士の上地玲子さん(40)や内田祐一、関節の曲げ伸ばしや子さん(34)らが指導している。2人ともダウン症の娘を持つ母親だ。藤田の立ちや歩き始めるの医師の指導や実習、研修を受け、赤ちゃん体操も強い傾向がある。体操では、短期間で歩かせるの指導員資格を取った。指導は、赤ちゃんが歩的姿勢や筋力を使ってけるようになったら修正できるようにする。「座でこれまでに17人が卒業した。定員15人で、現在は13、14人が参加やつかまり立ち、伝い歩し、広島など県外から来きなど、それぞれ段階の動作をエッセクして、上地さんは「足音を固く大切なことは、マッ定してくれるハイカント

## ダウン症児、歩けるように

### 北区で月1回 母親の情報交換の場

「ダウン症候群」とは、染色体のうちの21番目が1本多いことで起きる。英国のジョン・ラングドン・ダウン医師によって報告された。約800〜1000人に1人程度の割合で生まれる。知的障害や心臓病など合併症を伴うことが多いが、重い合併症がなければ学校に通ったり働いたりすることもできる。

の2人1人は歩く練習におすめ」とこの日参加したこうき君(2歳1カ月)に2人1人を履かせた。上地さんに両手を支えてもらいながら、笑顔で歩くこうき君を眺めていた母親(29)は「健康のことは主治医に聞ける。でも、身のまわりの生活や将来のことは、同じ母親の立場で情報交換をしたい」と話しだ。別の母親(30)は「私

自身、出産するまでダウン症について知識もないまま、偏見のないイメージを抱いていた。でも、ここに来ると『悲観的にならなくていい』と思えるようになった」と打ち明けた。

上地さんは「もし、ダウン症のことで悩んでいるなら、ぜひ見学に来てみてと呼びかけている。第1火曜午前9時半〜正午。問い合わせは同センター(086・284・8121)。

ダウン症候群 通常23対46本ある染色体のうち、21番目が1本多いことで起きる。英国のジョン・ラングドン・ダウン医師によって報告された。約800〜1000人に1人程度の割合で生まれる。知的障害や心臓病など合併症を伴うことが多いが、重い合併症がなければ学校に通ったり働いたりすることもできる。